

特集 ダンボールコンポストで楽しみましょう

問▶ 清掃事業所 (☎76)3053)

- **定員** 基礎講習↓各20人 (定員を超えた場合は抽せん)
- **受講料** 700円
- **申し込み** 開催日の10日前までに、住所・氏名・電話番号・希望日を記入し、持参か郵送、ファクス、Eメールで清掃事業所(T44-11155 堀内町西新田2/FAX77-1318 / kankyo-hozen@city-anjo.aichi.jp) <



表 ダンボールコンポスト講習会日程

回	講習名	とき	ところ
1	基礎講習 (いずれか1回を受講)	12月9日(休)	二本木公民館
		来年2月18日(金)	中部公民館
2	フォローアップ講習	来年3月27日(日)	リサイクルプラザ

※いずれも午後1時30分～3時

まずはお得な講習から

市では、ダンボールコンポスト講習会を開催し、うまく使うコツと、仕組みを教えています。初めての人だけでなく、自分だけで始めて失敗した人も、気軽に参加してください。必要な道具がそろったスターターキットを配布しますので、自分でそろえるより安くお得ですよ。

ダンボールコンポストの使い方

微生物が生ごみを分解するので、におわないよ



生ごみを入れ、混ぜる

ダンボール箱が、酸素を入れ、水分を逃がしています



微生物が生ごみを分解

基材(ピートモスともみ殻くん炭※)が、厚手のダンボール箱に入っています。使い方は、毎日、生ごみを投入していくだけ。箱の中の微生物が分解するため、においも無くなり、良いたい肥ができます。ダンボールが水分の蒸発を助けるため、面倒な後処理もありません。 ※ピートモスとは、水苔などを腐食化したもので保水・通気性がある。もみ殻くん炭とは、蒸したもみ殻を炭化したもので、消臭効果や保水性がある。

自然の力で分解

天ぷら油や魚のアラも

ナスやトマトのへたなどの野菜くずだけでなく、処理に困る天ぷら油を入れることができます。さらに臭くて困る、魚のアラやエビの殻も、箱の中の微生物は大好物。喜んで分解してくれるので、においはしないし、たい肥の良い栄養になります。

ぐんぐん育つたい肥

家庭の生ごみを取り込んでるので、たい肥にはたくさん栄養素が含まれています。しかも化学肥料とは違って安心。箱の中で保存もできるので、すぐに使い切る必要がないところも利点です。 下の写真は、たい肥を入れた土と入れていない土で比較したもので、違いがはっきり出ています。



たい肥を入れた小松菜(左)と入れていないもの

利用者のみなさん

鳥居恵美子さん(箕輪町) 杉浦孜江さん(同)



鳥居：これは生ごみを入れるだけなので楽ですね。生ごみが箱の中で消えていくのが面白いし、燃やせるごみの量も以前の4分の1近くに減りましたよ。一度

だけ虫がわいたことがありませんが、簡単に元通りになりました。趣味が増えたみたいで、楽しいです。市の講習で分かります。野菜を作っているんですが、自家製の安心な肥料が欲しくて使っています。コンバクトなので、庭やベランダで家庭菜園をしている人には、ほどよい大きさだと思えます。しばらく放置しておくと、中身がぐっと減って、分解されているのが分かるので、面白いですね。

稲生幸子さん(高棚町)



たい肥が、植物の肥料にとっても良いです。ミニトマトやスイカ、

ゴーヤなどを育てましたが、めきめき成長して、実がたくさんになりました。さらに、同じたい肥をプランターの植物にも使ったところ、葉や花がまるで光っているように元気に育ちました。家のごみが減り、植物も



育つから本当に楽しい。さらにダンボールコンポストの維持も簡単なので助かります。植物がよく育つように、土に声を掛けながら、育てているんですよ。

ダンボール箱と基材を販売

ダンボールコンポストに適したダンボール箱と基材(ピートモスともみ殻くん炭)を、ぬくもりワークス(赤松町)で販売しています。ダンボールは2重構造で丈夫。くわしくは同施設(赤松町恋塚87-1 / ☎(77)1555 / FAX(77)6969)へ。

費用▶ ダンボール箱→250円、基材→600円

